今、最も注目される教育旅行先
広島・瀬戸内海・松山 新定番ルート

今、最も注目される教育旅行先が、広島・瀬戸内海・松山の組み合わせだ。「平和学習」や「世界遺産を通した学習」など教育旅行の定番の地「広島」。これに瀬戸内海クルーズや島々での体験、道後温泉、しまなみ海道、多くの俳人や文学作品を輩出した松山や、砥部焼(伝統工芸の里)、清流肱川(大洲)を舞台とした多彩なテーマ別交流体験メニューを組み合わせた教育旅行が人気で、広島・瀬戸内海・松山のルートが新たな定番ルートとなっている。松山市のサポートが万全なのも、人気の理由だ。

話題が豊富な瀬戸内・松山

広島では、平和記念資料館東館が2017年4月にリニューアルオープンし、原子爆弾投下で瞬時に暮らしが失われる様子を表す「ホワイトパノラマ」などを新たに設置。一方、松山では、4年ぶりとなるアートの大祭「道後オンセナート2018」を開催、17年9月2日のプレオープンを皮切りに、19年2月までアートイベントが展開され、写真家で映画監督の蜷川実花が特別参加するなど注目を集める。また今年は、夏目漱石・正岡子規生誕150年、愛媛国体開催、9月26日に、日本最古といわれる温泉にふさわしい飛鳥時代をイメージした湯屋を再現した新たな温泉施設「道後温泉別館　飛鳥乃湯泉(あすかのゆ)」が道後に誕生するなど、今後も瀬戸内・松山の話題は尽きない。

道後温泉別館　飛鳥乃湯泉

チャーター船利用で効率的な移動

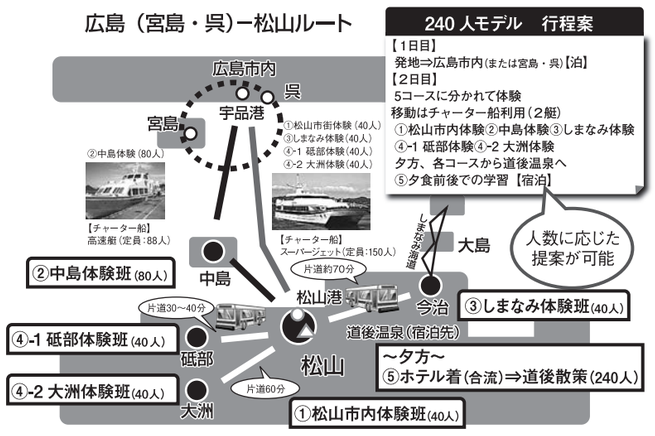
愛媛県外から松山市を訪れるには、海路や陸路などさまざま。松山市では、多様なモデル作りに取り組んでいる。その一例が、「広島―松山ルート」(240人モデル)。この区間は、チャーター船を利用し、スムーズに移動することで、自由度の高いコース設定や充実した体験が可能。穏やかで晴天率の高い瀬戸内海での運航率は、ほぼ100%と計画が立てやすく、安全で快適な約1時間の瀬戸内海クルージングを満喫できる。

道後に新たな温泉施設が誕生

注目の新ルート「徳島～松山ルート」

近年、注目のルートが、徳島―松山―香川の2泊3日のコースだ。1日目は、徳島の吉野川でラフティングをした後、そらの郷で民泊。引き続き、2日目午前中に農業体験などの農家山の暮らし体験をし、夕方に道後に宿泊。3日目の午前中に松山で俳句体験などのテーマ別の体験をした後、香川でうどん作り体験するというルートだ。この民泊と道後温泉を組み合わせたコースは、関西圏の中学校の新たな人気コースとなっている。

広島(宮島・呉)ー松山ルート



松山・道後ゾーン

本場の俳句に触れ言葉の力を学ぶ

松山市は、「いで湯と城と文学のまち」だ。日本最古の温泉と言われる道後温泉の本館は、ミシュラングリーンガイドジャポンで最高評価の三つ星を獲得。全く加温加水していない源泉100%のかけ流しは、全国でも例をみない温泉中の温泉だ。

また、標高132㍍の山頂にそびえ立ち、現存12天守の一つの「松山城」は、「連立式天守」「登り石垣」など防御に優れた貴重な特徴を持ち、難攻不落の城と言われる。天守からは、瀬戸内海から西日本最高峰の石鎚山まで一望できる。

松山ならではの体験が、俳句体験だ。俳句入門講座の後、松山・道後を散策し、俳句を詠む。散策中はガイドが句作のサポートをし、初心者でも俳句が詠める。その後、夕食時の宴会場で、「某テレビ番組の辛口俳句先生のように講師が巧みな進行で、楽しく生徒、先生の俳句を評価し、会場は笑顔で包まれる」(松山市産業経済部観光・国際交流課)。生徒の隠れた才能が明らかになると評判だ。

松山市で人気の取り組みが二つある。

一つは、松山市内には、俳人「正岡子規」をはじめとする文人ゆかりの歴史的・文化的資源がまちなかに多く点在しており、班別学習も人気だが、生徒の自主性を生かした班別研修用ガイドブック「瀬戸内・松山修学はい」が好評だ。

市内中心部が一目で分かる地図、班別研修用の市内散策モデルコースや、市内電車を使い、サイコロの出た目で名所を回る企画などが、掲載され、充実した内容となっている。

もう一つは、松山を訪れた修学旅行生を観光大使に任命する「瀬戸内・松山観光アンバサダー制度」だ。

希望に応じて生徒全員を大使に任命し、修学旅行の思い出や観光名所の写真などをSNSなどで情報発信してもらう。任命期間は20年間で、その間は松山城や道後温泉等の市の施設を無料で利用できる。

多彩なテーマ別交流メニュー

松山城で俳句体験

瀬戸内・松山観光アンバサダーの記念証(イメージ)。道後温泉などの利用が20年間無料

「和の作法」体験 道後・夜のメニュー

松山市は、主要観光施設がまちの中心部にコンパクトに納まっており、宿泊先として最適の道後温泉とは車で10分以内。宿泊施設の食事やおもてなしは一般旅行と同等レベルだ。この強みを生かした夜の体験メニューも人気だ。夕食前後の時間を利用し、会席料理やお座敷のマナー、食育など約15分で構成された研修は好評。

また、明治の雰囲気漂う道後温泉本館を中心に、特別料金で乗車できる人力車や本館前での集合写真、また散策中に俳句をつくり、特設のポストに投句すると、後日、最優秀句にみかんジュースなどが贈られるイベントも行っている。

夕食後に道後商店街で温泉文化を体験

瀬戸内海・松山周辺ゾーン

教育的視点から地域の資源を磨き上げた

松山周辺のメニューも充実している。松山市内から車で1時間で、「しまなみ海道」の今治市に到着。定番メニューは、世界唯一の自転車で渡る「橋上サイクリング」。瀬戸内海の島々を眺めながらの爽快なサイクリングを体験する。その後は、観潮船で急流体験を行い、自然の力、雄大さを体感する。

「とべ動物園」は、日本初の人工哺育に成功したホッキョクグマ「ピース」で有名。ここでは、飼育員から地球温暖化や森林伐採など人間が生じさせている環境問題について、身近な動物を通じて直接学ぶ。

六万石の城下町として栄えた大洲は、伊予の小京都、水郷のまち。およそ300年前から伝わる郷土料理「いもたき」を、河川敷で食べながら、地元の方とのふれあい交流を図る。さらに、流れ穏やかな肱川で、ミシュラン一つ星の臥龍山荘や大洲城を眺めながら、カヌー体験を行い、自然を満喫することができる。

真珠や魚介類の養殖が盛んな街、宇和島。ここでは、宇和海が育んだ産業、自然、伝統を学ぶ。真珠生産量は日本一を誇り、真珠を使った世界に一つのオリジナルのストラップ作りをする。昼食には、宇和海で取れた新鮮な鯛の刺身を使った「宇和島めし」を食べる。その後、宇和島地方独特の「闘牛」観戦をし、民俗文化を体験する。

— 協力 —
松山市産業経済部観光・国際交流課
TEL089-948-6558　FAX089-943-9001
教育旅行専用HP
おいでんか 松山　検索

京都 東映太秦映画村
見る・学ぶ・作る・参加する

東映太秦映画村(京都市右京区)では、修学旅行生に体験学習プログラムが人気。体験学習は修学旅行に必須のメニューとなっており、映画村では、「見る・学ぶ・作る・参加する」をテーマに、京扇子、京うちわの手描き体験のほか、清水焼絵付け体験などがある。

お手軽時代劇扮装

班別研修用には、少人数用のメニューとして、映画村ならではの「お手軽時代劇扮装」がある。メイク、かつらを省いて着物の着付けのみのお手軽プラン。短時間で変身し映画村の江戸の町を散策できる。

村内もリニューアルで新アトラクションが次々と登場している。時代劇や忍者をテーマにしたものが充実した。

時代劇扮装プラン
忍者修行アトラクションも

3月18日に新登場したアトラクション「刀でGO!!」は、刀を持って挑戦するアスレチック。「丸太橋わたり」「鳴子くぐり」「床下ひそみ」「大屋根くだり」などの忍者修行が体験できる。随所に現れる木の人形を倒し、最後は四方から舞い降りる無数のシャボン玉を斬る。バーチャルではなく実際に的に刀を当てながら進むので、今までにない充実感と爽快感が味わえる。

刀でGO!!

「レーザーミッション脱出の城」は、武将・織田信長が支配する架空の魔城から八つの罠を突破して脱出する体験型アトラクション。城の中は一本橋やスライダーなどのアスレチック、プロジェクションマッピングで演出される不思議な空間などの仕掛けがある。

「立体迷路　忍者の砦」は、高さ10㍍、3階建て240ブロックの屋内型立体迷路で日本初登場。屋内の特性を生かし迷路の中には岩落とし、つり天井など忍者の仕掛けたギミックやアスレチックが楽しめる。

「からくり忍者屋敷」は、「どんでん返し」や「隠し通路」など、たくさんのからくりを利用して忍者屋敷の出口を目指す。

手裏剣道場では、忍者の得意な武器である手裏剣投げに挑戦できる。伊賀流手裏剣打ちで、手裏剣を的に向かって投げられる実践道場。

第4回「伊賀流手裏剣打ハイスコア選手権」が開催中で本格手裏剣5投の合計でハイスコアを目指す。季節ごとに優秀者を決定し、賞状と記念品がもらえる。さらに年間グランドチャンピオンには伊賀上野観光協会の協力で、伊賀特産品が贈られる。ランキングも随時映画村HPで発表している。

伊賀流手裏剣打ハイスコア選手権

パンフレットの郵送、申し込みなど体験学習に関する問い合わせは東映太秦映画村(☎075・864・7716)まで。

阪神・淡路大震災の記憶と教訓を後生に

阪神・淡路大震災発生の瞬間の再現映像を上映する1.17シアター

神戸市中央区の「阪神・淡路大震災記念　人と防災未来センター」は、その名称の通り、阪神・淡路大震災の記憶と教訓を後世に伝えるために2002年に開設され、例年約50万人が来館する防災学習施設だ。

阪神・淡路大震災発生の瞬間の再現映像「5・46の衝撃(1・17シアター)」、復興に至るまでのまちと人の様子を描いたドキュメンタリードラマ「このまちと生きる(大震災ホール)」など

人と防災未来センター

の映像上映の他、被災者から提供された実物の震災資料展示を行っている。

東日本大震災被災地のドキュメンタリー3D映像作品「大津波」も上映している。復興が進む中で津波被害を語り継ぎはじめた被災者の姿など、被災地のいまを改めて知ることができる作品だ。

これからの防災、減災を学ぶためのワークショップスペースもあり、耐震構造や液状化について学ぶ実験コーナーや、防災ゲームなどが用意されている。災害への備えをリスト化した、人と防災未来センターオリジナルの「減災グッズチェックリスト」は展示フロア内で無料配布されており、また同センターホームページからダウンロードすることも可能だ。

液状化の仕組みを学ぶ実験ステージ

他にも、災害や備えについてワークシート形式で学ぶことができる「くらしと震災学習ノート(対象は中学生以上)」も今年から新たにダウンロードできるようになっているので、センター見学の事前・事後学習や学校での防災学習でぜひ活用したい。

昨今、日本だけでなく世界各地で甚大な被害をもたらす自然災害が数多く起こっている。いつでも、どこでも、誰でも、災害に遭う可能性があるからこそ、過去の災害を知り、そしてこれから起こりうる災害への備えを学ぶ場として活用したい。

学習旅行誘致の説明会
長野県観光機構、東京で

長野県観光機構は8月29日、「学習旅行誘致説明会」を東京都内で開催し、学習旅行の実態報告などを行った=写真。旅行会社の担当者や、県内の宿泊施設関係者ら約130人が参加した。

学習旅行誘致推進協議会の吉池輝樹事務局長によると、2015年度の県外からの来訪学校数と延べ児童・生徒数は43,078校、約85万2千人だった。宿泊地は菅平高原が最も多く、学校の所在地別は東京、埼玉、千葉、神奈川の1都3県からが約63%を占めた。

16年度の海外からの訪日教育旅行は142校だった。中国、台湾からの来訪が中心で最近では児童・生徒とその親が参加する「親子ツアー」も増えている。

2年後の19年に開催される全国都市緑化信州フェア「信州花フェスタ2019」の概要も発表された。全国都市緑化フェアは、1983年から全国各地で開催。国内最大級の花と緑の祭典で、長野県での開催は初となる。日程は、4月25日から6月16日までの53日間。長野県松本平広域公園がメイン会場となる。会期中は企業などの出展によるコンテストなどに加え、緑化などに関わるさまざまな学習や体験の場を提供する。

長野県
平成27年度 学習旅行 11.4%増の4378校

長野県観光部山岳観光課はこのほど、平成27年度「学習旅行実態調査結果」を発表した。県外からの学習旅行の来訪学校数は計4378校で、前年度比11・4%の増加となった。

調査は、長野県外からの学習旅行の状況を把握し、学習旅行誘致対策等の基礎資料とすることを目的としている。調査対象期間は平成27年4月1日から平成28年3月31日まで。

県外からの学習旅行の来訪学校数4378校は前年度の3930校に対して448校増加した=表1。来訪した延べ児童・生徒数は計85万1876人で、前年度の78万6472人に対して6万5404人、8・3%の増加となった。

宿泊地別延べ児童・生徒数の状況(上位5位)を見ると、「菅平高原」「志賀高原・北志賀高原」「その他の佐久地事管内」などの順となっている。

表-1　来訪学校数および延べ児童・生徒数の状況　(単位:校、人、%)

区分	来訪学校数					延べ児童・生徒数				
	26年度	27年度	対前年度増減	対前年度比	構成比	26年度	27年度	対前年度増減	対前年度比	構成比
小学校	807	887	80	9.9	20.3	152,862	136,337	△ 16,525	△10.8	16.0
中学校	1,583	1,615	32	2.0	36.9	325,081	314,963	△ 10,118	△3.1	37.0
高等学校	1,540	1,876	336	21.8	42.8	308,529	400,576	92,047	29.8	47.0
合計	3,930	4,378	448	11.4	100.0	786,472	851,876	65,404	8.3	100.0

表-2　宿泊地別延べ児童・生徒数の状況(上位5位)　(単位:人、%)

順位	小学校			中学校			高等学校			合計		
	宿泊地名(昨年度順位)	27年度(構成比)	対前年度増減(対前年度比)	宿泊地名(昨年度順位)	27年度(構成比)	対前年度増減(対前年度比)	宿泊地名(昨年度順位)	27年度(構成比)	対前年度増減(対前年度比)	宿泊地名(昨年度順位)	27年度(構成比)	対前年度増減(対前年度比)
1位	その他の上小地事管内	30,619	6,960	菅平高原	84,480	52,219	菅平高原	150,192	98,961	菅平高原	240,958	151,791
	(2)	(22.5)	29.4	(3)	(26.8)	161.9	(2)	(37.5)	193.2	(2)	(28.3)	170.2
2位	志賀高原・北志賀高原	19,825	△ 1,117	志賀高原・北志賀高原	58,095	△ 25,533	志賀高原・北志賀高原	96,466	△ 14,579	志賀高原・北志賀高原	174,386	△ 41,229
	(3)	(14.5)	△ 5.3	(1)	(18.4)	△ 30.5	(1)	(24.1)	△ 13.1	(1)	(20.5)	△ 19.1
3位	その他の佐久地事管内	15,323	2,016	その他の佐久地事管内	18,113	△ 2,821	その他の佐久地事管内	25,104	363	その他の佐久地事管内	58,540	△ 442
	(5)	(11.2)	15.1	(4)	(5.8)	△ 13.5	(3)	(6.3)	1.5	(4)	(6.9)	△ 0.7
4位	軽井沢高原	12,638	△ 1,467	白馬山麓・八方尾根	15,383	325	野尻湖・黒姫高原	21,003	3,085	その他の上小地事管内	49,498	9,071
	(4)	(9.3)	△ 10.4	(6)	(4.9)	2.2	(4)	(5.2)	17.2	(5)	(5.8)	22.4
5位	その他の北信地事管内	7,811	3,021	斑尾高原・飯山・戸狩	14,162	△ 4,430	その他の諏訪地事管内	18,548	3,242	その他の諏訪地事管内	38,777	△ 45,502
	(9)	(5.7)	63.1	(5)	(4.5)	△ 23.8	(5)	(4.6)	21.2	(3)	(4.6)	△ 54.0

(注)その他の上小地事管内:東御市、美ヶ原高原など　菅平高原以外の上小地方事務所管内
その他の佐久地事管内:白樺高原、川上村など　野辺山高原、軽井沢高原以外の佐久地方事務所管内
その他の北信地事管内:木島平村、野沢温泉村など　斑尾高原・飯山・戸狩、志賀高原・北志賀高原以外の北信地方事務所管内
その他の諏訪地事管内:諏訪市、富士見高原など　蓼科高原・白樺湖・車山高原以外の諏訪地方